



「種から帚を作る」  
こばやし ふみこ  
小林 フミ子 さん



ほうきは畳の文化と共にある道具。20年前におばあちゃんの作るホウキキビを使ったほうきをもらったことがきっかけで、真似して作ってみたのが始まりです。ホウキキビの種をもらい、自分の畑で栽培して作っています。

ホウキキビは6月～7月に種をまき、9月～10月に刈り取るそうです。その後、4・5ヶ月かけ干してから、ほうきを作ります。今年も作りたかったけど、台風で倒れて全滅してしまいました。ホウキキビは雨に弱く、3mもの高さになるので倒れやすいそうです。



ほうきを作り続けて15年。夢中になって集中して作るのが楽しいのと笑顔で語ってくれました。手が器用でブローチやストラップなどのビーズ小物や、ビニール籠なども見様見真似で作っています。



手が器用で小物作りが大好きです。